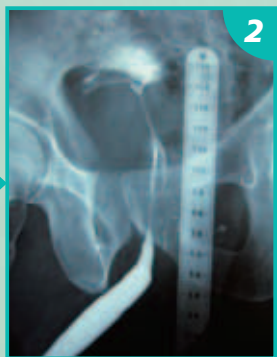


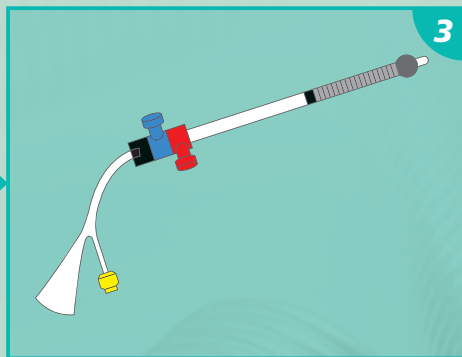
メモカスの透視下留置方法



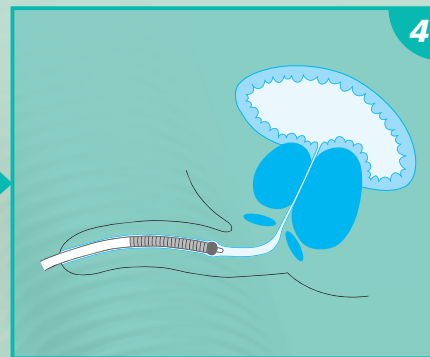
1 仰臥斜位で不透過メジャーを恥骨上に置き、尿道造影をします。



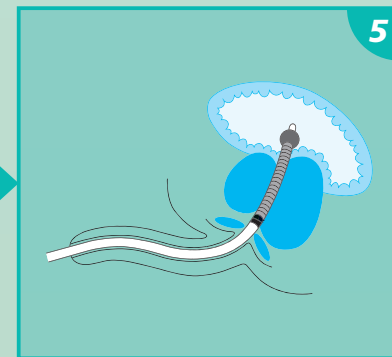
2 尿道長を測定します。



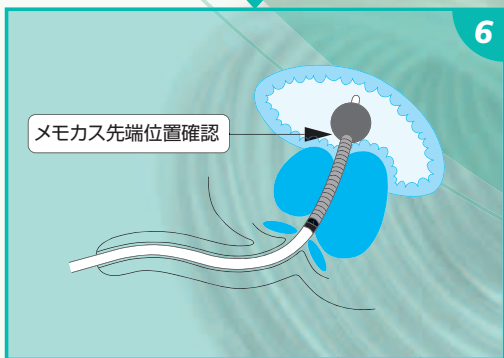
3 10Fr腎盂バルーンカテーテルをメモカスのシースに通します。シリンジに0.2mL程度の滅菌精製水（または希釈造影剤または生理食塩水）にてバルーンをふくらませ、メモカスをシースに固定します。メモカス本体を保持できる大きさがあれば十分です。



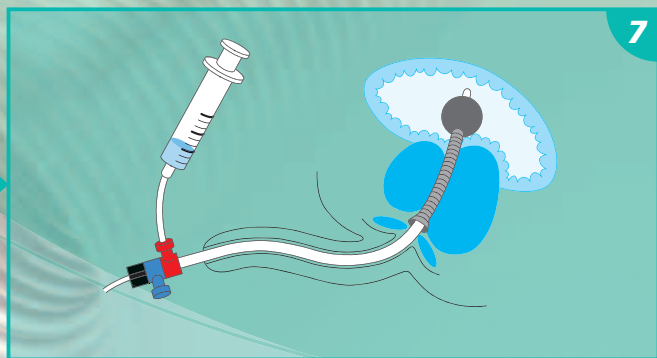
4 ステントにゼリーを十分に塗布し、透視下でメモカスを挿入します。



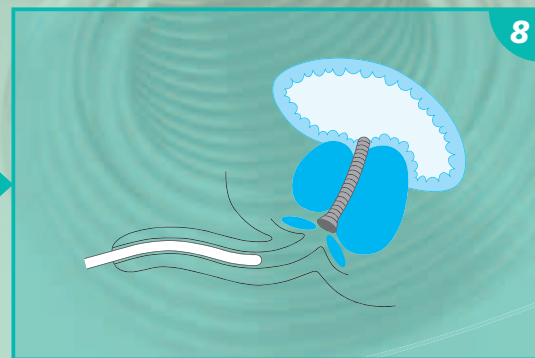
5 メモカスの先端を膀胱頸部より意識的に出します。



6 バルーンを2~3mL程度の滅菌精製水（または生理食塩水）と希釈造影剤の混合液で更にふくらませ、メモカス先端を膀胱頸部まで引き戻します。



7 **水温が適正かチェックします。** 熱いことを事前に患者さんに伝えておきます。赤いサイドポートより55℃の温水50ccを注入します。ステント端が拡張し、固定されます。



8 バルーンカテーテルの液を抜き、シースとカテーテルを同時に抜去し終了です。



9 尿道造影にてメモカスの位置を確認します。

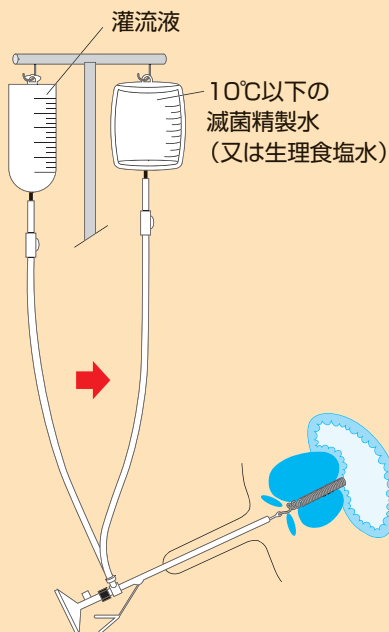
メモリースtentメモカスの抜去方法

- 尿道に局所麻酔用ゼリーを十分に注入します。
- 膀胱鏡をメモカス下端にくるように挿入します。
- 鱈口の把持鉗子でメモカスの下端(コイルの手前1~2本)をしっかりと把持します。
- 10℃以下の滅菌精製水(又は生理食塩水)100~200mLを膀胱鏡経由でメモカス内へ注入します。
- メモカスが軟化しますので、把持鉗子を用いメモカスを内視鏡の外套内を通して内視鏡の外まで引き出します。
- 留置箇所(尿道、前部尿道)の状態を確認し、膀胱鏡を抜きます。



コイルが軟化し、ほぐれた状態

抜去例1



抜去例2



腎盂バルーンカテーテルを用いた透視下メモカス留置・抜去時の必要器材

メモリースtentメモカス留置時

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. メモカス028T又は028TW | 1セット |
| 2. 10Fr. 腎盂バルーンカテーテル(ロングタイプ) | 1本 |
| 3. 局所麻酔用ゼリー | 適量 |
| 4. 陰茎クランプ | 1個 |
| 5. シリンジ(5mL、50mL 他) | 1式 |
| 6. 55℃ 滅菌精製水(又は生理食塩水) | 100mL |
| 7. 滅菌温度計(水温測定用。60℃以上測定できるもの) | 1本 |
| 8. 滅菌ドレープ(フォーリーカテーテル挿入又は内視鏡検査用) | 1式 |
| 9. 滅菌カップ(精製水、生理食塩水用) | 2個 |
| 10. 滅菌精製水(又は生理食塩水)温度調節、バルーン拡張用 | 200mL |
| 11. 造影剤 | 適量 |
| 12. 定規(尿道造影時の尿道測定用。10cmまで測定できるもの) | 1本 |
| 13. ホワイトボードマーカー(尿道造影時、透視モニター上のマーキング用) | 1本 |

待機器材:尿道拡張用又は抜去への対応用

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 1. ブージー(24Frあるいは26Frまで) | 1式 |
| 2. 10℃以下滅菌精製水(又は生理食塩水)抜去時に使用 | 200~500mL |
| 3. 膀胱鏡 | 1式 |
| 4. 異物用鱈口鉗子 | 1個 |
| 5. 灌流液 | 適量 |
| 6. ガイドワイヤー | 1本 |

メモリースtentメモカス抜去時

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 1. 硬性膀胱鏡又は軟性膀胱鏡 | 1式 |
| 2. 異物用鱈口鉗子 | 1個 |
| 3. 灌流液 | 適量 |
| 4. 10℃以下滅菌精製水(又は生理食塩水)抜去時に使用 | 200~500mL |
| 5. 局所麻酔用ゼリー(状況に応じて仙骨・腰椎麻酔) | 適量 |
| 6. 滅菌ドレープ(内視鏡検査用) | 1式 |

小川赤十字病院 泌尿器科部長
伊藤浩紀先生監修



製造販売元

コロプラスト株式会社

製造元

Pnn Medical A/S (デンマーク)

Coloplast is registered trademark of Coloplast A/S.

© 04.07. All rights reserved Coloplast A/S,DK-3050 Humlebæk, Denmark

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30
TEL.03-3514-4141(代表) FAX.03-3514-4188

お客様センター

☎ 0120-66-4469

http://www.coloplast.co.jp

札幌 TEL.011-738-6660 大阪営業所 TEL.06-6384-3480
仙台営業所 TEL.022-292-6411 広島営業所 TEL.082-506-3888
東京営業所 TEL.03-5807-1958 福岡営業所 TEL.092-524-5830
名古屋営業所 TEL.052-331-6930



0 400000 005416

制作年月: 2009年10月/M3000-2